

【記者からの質問】

共同通信／今回の補正にかける思いを。

知事／「2回も被災し、心が折れそうだ」という声を聞き、もう一度、前を向いてもらう予算にしたかった。本激でないと使えない3億円上限の補助金の支援を受け、事業者の皆さんへの励ましになるのではないかと併せて、気候変動型の災害に対し、官民がともに準備していこうと思える予算設定ができ、ありがたい。

NHK／この予算措置を使って、被災者がどう災害に備えてほしいのか。

知事／気象変動型の災害に流域全体で対応できるよう、内水対策プロジェクトチーム「プロジェクトIF」を立ち上げ、できることから準備をしていきたい。

事業者の皆さんは、災害時に止水板の設置や機械の移動といった準備を早めにしてもらう。また、保険もかけてもらう。官民一体で災害に打ち勝つための体制をつくった予算になった。